



2021  
February

2021年2月



新型コロナウイルス感染予防対応中の統計数理研究所エントランス

Risk Analysis Research Center

## CONTENS

- 01 1. 今月のトピックス
- 01 2. 各プロジェクトからのお知らせ
  - 金融・保険リスクの計量化と戦略的制御プロジェクト
  - データ中心リスク科学基盤整備プロジェクト
  - リスク基盤数理プロジェクト
  - 環境情報に関する統計解析手法開発プロジェクト
  - 資源管理リスク分析プロジェクト
  - 地震予測解析プロジェクト
- 02 3. センター事務局からのお知らせ

## 1. 今月のトピックス

- 1月7日より、再度の緊急事態宣言が発出された状況下、リスク解析戦略研究センターでは、共同研究・研鑽の場を維持していくため、オンライン、オンラインとオンサイト実施のハイブリット、感染予防を十分に配慮した実際の開催等、新たなシンポジウム等の開催の手法を模索しています。

## 2. 各プロジェクトからのお知らせ

### ■金融・保険リスクの計量化と戦略的制御プロジェクト

- 2021年5月17-18日 金融シンポジウムを実際に会場を借りて開催する予定です。コロナ禍のため開催形態が見通せない状況ではありますが、官民各方面の方に出演を依頼しています。感染対策を十分に施した上でのリアル開催、という方法も重要であると考えています。

(所内責任者：山下 智志 教授)

### ■データ中心リスク科学基盤整備プロジェクト

- 1月6日 公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムの第13回運営会議を開催しました。
- 2月上旬 公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムにおいて、公的マイクロデータ・オンサイト利用施設の利用状況・利用意向およびコンソーシアムへの要望・意見を伺うためのアンケートを実施する予定です。詳細は、実施時に公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムのウェブサイトに掲載予定です。

(所内責任者：南 和宏 教授)

- 日本統計学会春季集会において、マイクロ統計の企画セッションを開催する予定です。当センターからは山下智志センター長と張俊超特任助教が発表予定です。

### ■リスク基盤数理プロジェクト

- 12月14日に松本市松本商工会館においてワークショップ「確率・統計・行列ワークショップ 松本 2020」を開催いたしました。主催者は信州大学の沼田泰英准教授、滋賀大・統数研客員の竹村彰通教授、統計数理研究所の栗木哲教授の3名です。

<http://math.shinshu-u.ac.jp/~nu/html/workshop/20201214-shinshu/>

集会はハイブリッド形式で行われ、参加者18名のうちオフラインは8名、オンラインは10名でした。対面形式の研究発表討論は充実したものでした。またハイブリッド形式の集会運営も予想以上に順調で、今後はこの形式が主流になることを感じさせるものでした。

(所内責任者：栗木 哲 教授)

### ■環境情報に対する統計解析手法開発プロジェクト

- 2019年3月25-26日に開催されたISM Symposium on Environmental Statistics 2019の内容が「ISM 2019-EEST(Environmental and Ecological Statistics) special issue」に掲載されることが確定しました。本シンポジウムに参加したカナダのPierre R.Dutillrul教授(McGill University, Canada)及び統数研の島谷健一郎准教授と清水邦夫特命教授がゲストエディターとして参加しており、ISMシンポジウムの成果の一つとなっています。

<https://www.springer.com/journal/10651>

(所内責任者：島谷健一郎 准教授)

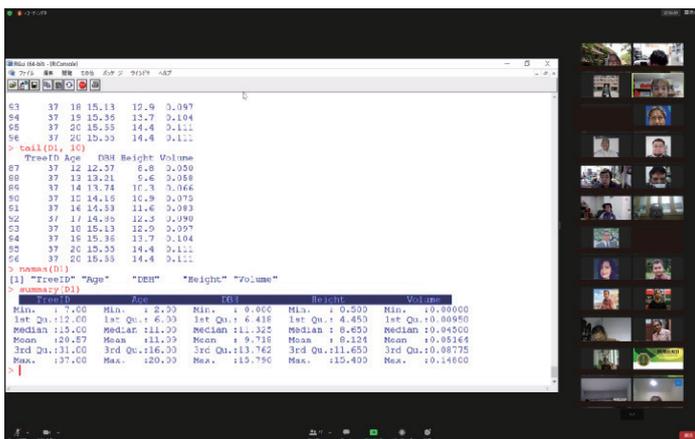
- 3月24日 ISMと協定を結んでいるANUの研究者と統計数理研究所の加藤昇吾准教授・間野修平教授の協力を頂き、オンラインでのワークショップの開催を予定しています。

コロナの状況下、例年のようにISMシンポジウムとして一堂に会しての開催が出来ない中、研究交流を続けていくことを考え、開催することになりました。是非ご参加ください。

(所内責任者：金藤浩司 教授)

## ■ 資源管理リスク分析プロジェクト

- 12月21-23日の3日間に渡り、リスク解析戦略研究センター、PERHEPI インドネシア農業経済学会との共催により「Application of "R" Software for Statistical and Econometric Analysis in 2020, Indonesia ~Level 1~」をオンラインワークショップとして開催しました。3日間で延べ141名が参加しました。(1日目：58名、2日目：46名、3日目：37名)



インドネシア農業経済学会共催のオンラインワークショップ

- 1月26-27日 2日間に渡り、Institute of Forestry Pokhara Campus (トリヴァン大学・ネパール) との共催により、Asian Agri-Forest Resource Management Research Consortium Online Workshop for Statistical Analysis with 'R' をオンラインワークショップとして開催しました。2日間で、延べ93名が参加しました。

(所内責任者：吉本敦 教授)

- 3月13-14日 オンラインによるFORMATH国際シンポジウムを予定しています。
- 3月16-17日 オンラインによる国際インターンシップを予定しています。

(所内責任者：吉本敦 教授)

## ■ 地震予測解析プロジェクト

- 「統計数理」特集「Hawkes 過程の新展開と応用」の編集は順調に進行しています。外国人の Alan Hawkes 氏の投稿があります。

(オーガナイザー：

庄建倉准教授、小山慎介准教授、野村俊一助教)

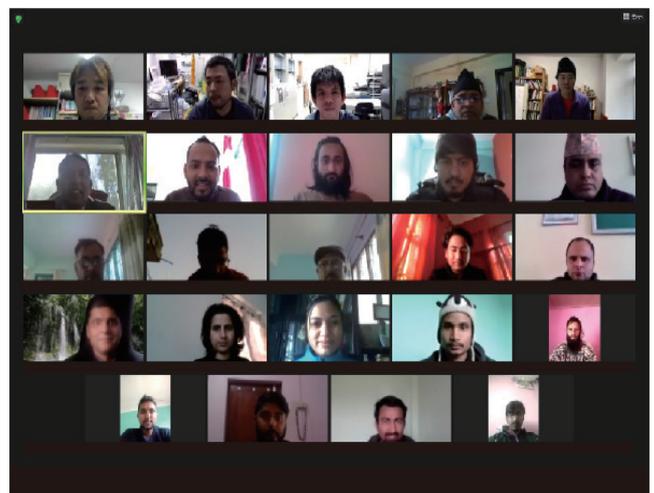
## 3. センター事務局からのお知らせ

- 1月のリスクセンター運営会議の議題
  - ・ PD 公募の状況と統計教員養成事業の報告
  - ・ 本年度予算の執行予定の確認
  - ・ 来年度予算について
  - ・ 来年度の客員教員の申請の確認
  - ・ 各プロジェクトからの報告
  - ・ その他

- 次回の会議は

2021年2月10日(水) 11:00 ~ の予定です。

2021/2/1



Institute of Forestry Pokhara Campus 共催のオンラインワークショップ